

三島市立中郷小学校

「三島市理科教育推進チーム」を中核とする持続可能な小学校若手教員の理科授業力向上計画

小中連携で理科教育を底上げ

理科好き教員が理科好き児童を増やす

静岡県東部に位置する三島市。市立中郷小学校をはじめとする同市の小学校では、理科教育を根底から充実させるべく、3年前から学校横断的な教員支援プロジェクトを推進してきた。当初から中心的な役割を果たしてきた中郷小の前校長で、現在は市立南中学校校長を務める野口厚氏は、「理科好きの児童を増やすには、まず教員自身が理科を好きになる必要がある」とプロジェクトの動機を語る。

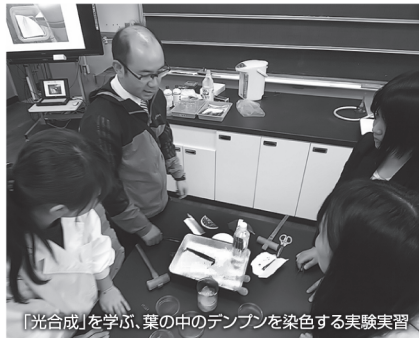
1～2年目は、理科に苦手意識を持つ教員などに向けた授業プランの作成を行った。そこで出てきた「うまくいかない実験がある」という声に応え、3年目からは理科専科教員などからなる「三島市理科教育推進チーム」を組織。市内の若手小学校教員数十人を対象に、専門の助言者も招聘した実験実習(ワークショップ)を開催した。



キュウリを使った「植物の結実」の実験実習の様子



「気体の性質」を学ぶためのアンモニアの噴水実験の様子



「光合成」を学ぶ、葉の中のデンプンを染色する実験実習



●実施担当

堤 寛大 教諭

●活動のモットー

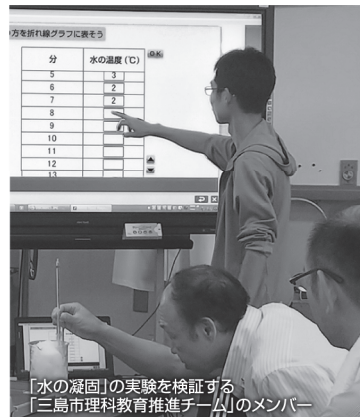
実験や観察など、体験的な活動を可能な限り授業に取り入れている。そのうえで、児童には失敗から学ぶことの大切さを体験的・経験的に知ってほしい。

学校概要



「親切・責任」を校訓として明治6年に開校した伝統校。「徳：困っている人がいたら助ける」を教育の重点目標に掲げる。

設立: 1873年
生徒数: 385人
所在地: 静岡県三島市梅名453番地



「水の凝固」の実験を検証する「三島市理科教育推進チーム」のメンバー

「理科が一番好き」の声

たとえば、「水がなかなか凍らない」という悩みが寄せられた「水の凝固」の実験では、最適な試験管の口径や、ピーカーを二重にして結露によるくもりを抑える方法などが紹介された。

チーム長を務めていた中郷小の堤寛大教諭は、「ちょっとしたコツを知ることによって、先生たちも安心して実験に取り組めるようになります。それにともない、「理科が一番好き」といった児童の声も増えてきました」と話す。

4年目となる今年からは、小中の連携をテーマに加え、小学校と中学校で内容の重なる授業や実験を、小中の教員が相互体験する活動を予定している。現チーム長を務めている中郷小の田代朋弘教諭は「これにより、小学校で身につけさせたい内容が明確になるとともに、小学校での経験を土台に中学校の学習を発展させる授業展開も考えられます」と期待を寄せている。

(令和2年度意欲的な小学校の先生方を支援するプログラム助成)

この活動は、中谷医工計測技術振興財団の「科学教育振興助成」により行われています。



公益財団法人 中谷医工計測技術振興財団 〒141-0032 東京都品川区大崎1丁目2番2号 アートヴィレッジ大崎 セントラルタワー8階

シスメックス株式会社創立者の故・中谷太郎氏が私財を投じて設立。医工計測技術分野の発展を願い、「中谷賞」をはじめ各種研究助成、若手研究者支援や国際交流事業を展開。さらに、すそ野拡大のため、科学教育振興活動などに対し、幅広い助成事業を行っています。

中谷財団

検索